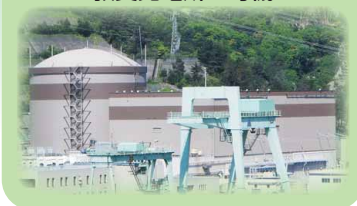


げんでんつるが

特別号
2017年7月
第46号

敦賀発電所 1号機



敦賀発電所 1号機に係る廃止措置工事の開始について

敦賀発電所 1号機は、原子力規制委員会から廃止措置計画の認可をいただき、5月から廃止措置工事を開始しています。今後も、安全確保を最優先に、廃止措置を着実に進めてまいります。

日本原子力発電株式会社

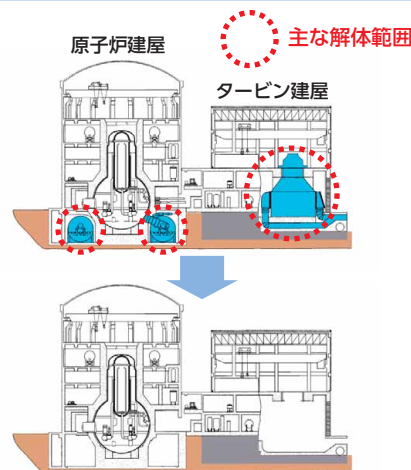
敦賀発電所 1号機の廃止措置工事は、大きく3段階に分け24年をかけて進めてまいります

原子炉本体等解体準備期間【9年間】

原子炉建屋から燃料を搬出

原子炉建屋およびタービン建屋内の設備などを解体

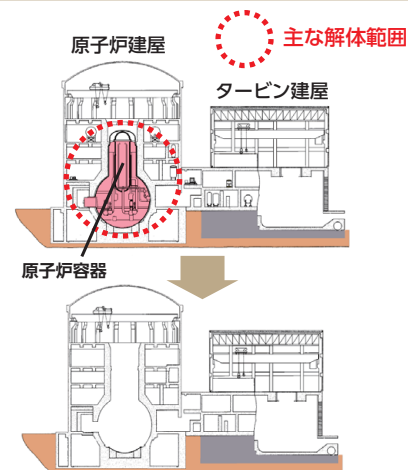
原子炉本体などの放射能が弱くなるまで安全に貯蔵



原子炉本体等解体期間【9年間】

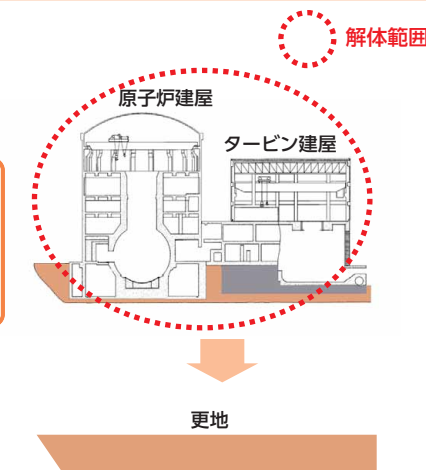
放射能が弱くなった後、原子炉容器などを解体

原子炉建屋およびタービン建屋内の設備などを解体（継続）



建屋等解体期間【6年間】

原子炉建屋およびタービン建屋などを解体



廃止措置工事の状況

○「除染室内排水ピット（タービン建屋）除染工事」を5月15日から開始しました。



除染作業エリア内の機器（ポンプ）の取り外し作業を実施



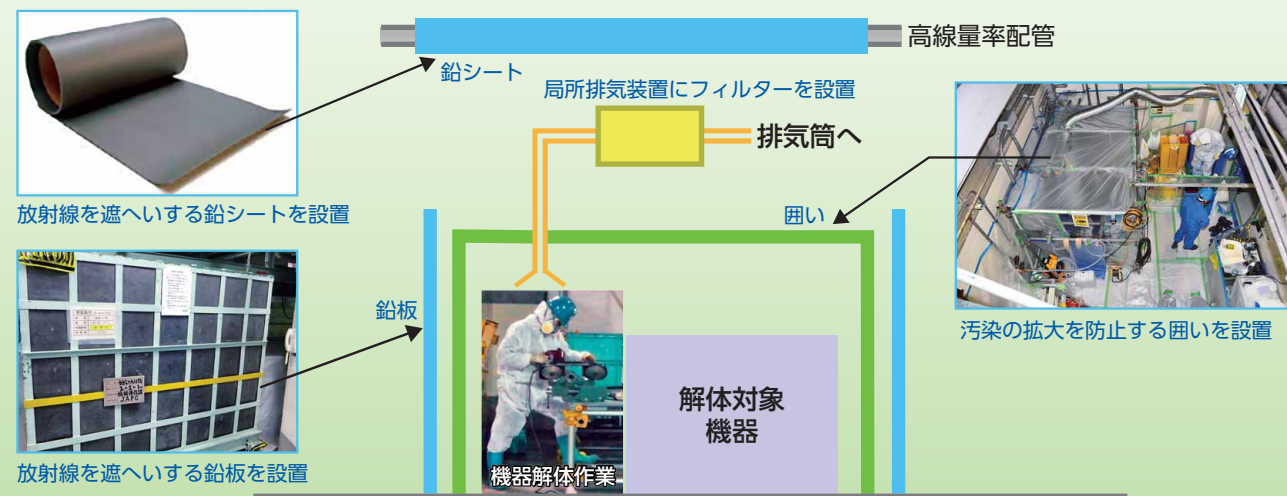
安全対策を講じた上で排水ピット内の除染作業を実施

○今後準備が整い次第、タービンや発電機の解体工事（タービン建屋）や制御棒駆動水圧ユニットの解体工事（原子炉建屋）等を、順次開始する計画です。

廃止措置工事における安全対策例

○廃止措置工事は、必要な安全対策を講じ、安全最優先に実施します。

安全対策として、汚染拡大防止対策（囲い、局所排気装置等の設置）や放射線業務従事者に対する被ばく低減対策（遮へい鉛シート、遮へい鉛板の設置）などを行い、作業を実施します。



※廃止措置とは、運転を終了した原子力発電所を解体・撤去し、これに伴い発生する廃棄物を処理・処分し、更地にするまでの一連の作業・措置のこと

廃止措置に関するQ&A

Q1：原子力発電所の廃止措置がこれまでに実施された例はありますか？

A1：国内では、研究施設として、日本原子力研究開発機構の“動力試験炉（JPDR）”（茨城県東海村）の解体が平成8年に完了しています。海外では、アメリカで10基、ドイツで1基、計11基の発電所で廃止措置が完了しています。
（電気出力3万kW以上の非軍事用発電炉／H29.1月末現在）

《解体前》



運転中の試験炉

《解体後》



廃止措置終了後の試験炉の跡地

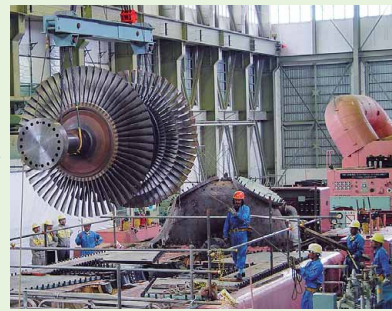
（資料提供：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構）

また、平成10年3月に営業運転を終了した当社の東海発電所（炭酸ガス炉）では、平成13年から日本の商業用原子力発電所では初めて廃止措置工事を進めています。これまでに、タービン建屋領域機器の撤去工事や燃料取替機の撤去工事などを完了し、現在、熱交換器の撤去工事を行っています。

【東海発電所廃止措置 タービン建屋機器撤去工事】



撤去前のタービン発電機
（平成15年4月撮影）



タービン発電機撤去作業
（平成15年5月撮影）



タービン建屋内機器撤去後
（平成16年3月撮影）

当社は、東海発電所の廃止措置で培った経験やノウハウに加え、海外で軽水炉の解体経験が豊富な米国の廃止措置専門会社（エナジーソリューションズ社）と協力し、敦賀1号機の廃止措置を安全かつ着実に進めてまいります。

Q2：全国の原子力発電所で、廃止措置を行っている発電所は他にありますか？

A2：当社の東海発電所、敦賀1号機他には、平成15年に停止した日本原子力研究開発機構原子炉廃止措置研究開発センター（ふげん）と平成21年に停止した中部電力（株）浜岡1、2号機が、廃止措置を進めています。
また、本年4月以降、関西電力（株）美浜1、2号機、九州電力（株）玄海1号機、中国電力（株）島根1号機、四国電力（株）伊方1号機の廃止措置計画が認可されています。

社員による訪問対話活動を実施し、地域の皆さまのご意見をお伺いしました

当社では毎年、敦賀発電所の事業運営について地域の皆さまのご理解を得るため、敦賀市内全域および隣接・隣々接町の区長様を対象とした訪問対話活動を行っています。

今回の活動では、敦賀2号機の新規制基準への適合性確認審査対応状況、敦賀1号機の廃止措置計画などについてご説明しました。

皆さまから頂いたご意見やアンケートの結果などについてお知らせします。

訪問対話活動の実施結果について

- 実施期間 平成29年3月27日～4月16日
- 訪問戸数 敦賀市内全域 26,257戸
隣接・隣々接町の全区長様 320戸
- 活動人数 476人
- 主な説明内容

- ・敦賀発電所2号機の適合性確認審査対応の状況について
- ・敦賀発電所1号機の廃止措置計画について



訪問対話活動の様子

《訪問時に皆さまから頂いた主なご意見（抜粋）》

- 福島第一原子力発電所の事故のようなことは絶対に起きないように、安全に行ってほしい。
- 敦賀発電所でも安全対策を行っていると感じているので、しっかり取り組んでほしい。
- 敦賀1号機の廃止措置工事について、安全第一に取り組んでほしい。
- 何事も隠すことなく情報開示してほしい。
- 高レベル放射性廃棄物の最終処分地を確保できないと原子力を進めるのは困難だと思う。

また、訪問先の皆さまからご返信頂きました約800通のアンケートハガキでは、発電所の安全運転や原子力政策、また、訪問対話活動など当社広報活動に関するご意見などを頂きました。

皆さまからたくさんの貴重なご意見を頂き、ありがとうございました。

当社では、皆さまから頂きましたご意見を踏まえて、安全確保を最優先に敦賀発電所の事業運営に取り組んでまいります。



日本原子力発電株式会社 敦賀事業本部 立地・地域共生部

お問い合わせ先 〒914-0051 福井県敦賀市本町2丁目9-16 TEL 0770-25-5713（土日祝日を除く9時～17時）

敦賀発電所安全対策および敷地内破砕帯調査に係る情報については、当社ホームページに掲載しています。（<http://www.japc.co.jp>）